

平成 27 年 4 月総務企画委員会 議事概要

H27.5.19 修正

日 時：平成 27 年 4 月 21 日（火） 18：00～

会 場：建築士会 会議室

出席予定：（担当副会長）長田 喜樹

（委 員 長）金子 修司 （副委員長）山成 芳直

（委 員）加藤 清、芝 京子、石井 明、加藤 高明、村島 正章、菊嶋 秀
生、長谷川 行彦、沼田 有二

欠席予定：（委 員）永井 香織、嵯峨野 雅彦

オブザーバー 花方会長

事務局：須藤事務局長

<会長あいさつ>

・今回は、決算がまだ数字が固まっていないので、状況だけ説明する。最終段階まで臨時総会及び役員選挙費用が例年と比べ多く費用がかかるものの、赤字でもあまり大きい額ではないと考えていたが、予算の段階で、退職金引当金を少額しか見込んでいないことと消費税が昨年並みに計上していたが、8%となった影響を見込んでいないなどのことがあり、150万円くらいの赤字となる。ただし、消費税も支部会計などのすべての会計が閉まらなると確定できないため、その部分の変動があるが、大きく変わることはないと思っている。

<確認事項>

1 前回(3/18)議事録の確認【資料1】

- メールリストで事前送付済みであり、加除等があれば事務局に連絡いただくものとして承認された。

<協議事項>

1 平成 26 年度 総務企画委員会事業報告（案）について【資料2】

事務局長より説明。了承された。

2 平成 26 年度 総務企画委員会決算（案）について【資料3】

事務局長より説明し、了承される。

3 平成 27 年度 決算について【資料4】

事務局長より説明。「収支差額表」の備考欄を説明し、「収入・支出予算及び執行額」に移り、予算と決算の隔たりが大きい項目とその理由を説明した。また人件費について事業費と管理費の計が予算より 2 百万円少ない額となっている旨説明し

た。委員から次の意見があった。

委員)「収入・支出予算及び執行額」と「総務企画委員会予算執行状況」の予算額が異なっていること、また執行額の表記が各委員会でまちまちであることについてできる限り統一したほうがよい。

4 「建築士会のあり方及び会員増強」検討委員会について【資料なし】

事務局より、資料なしで、理事会での新体制で検討することと決まった事を受け、今後の検討として議題提案した旨の説明をした。

メンバーの入れ替えを含め今後検討することとした。

4 平成 27 年度の委員会の年間活動計画案【資料 5】

事務局より、2月に提出した計画案で今後の活動の具体的案を各委員で持ち込んで欲しい旨説明をした。また賛助小委員会企画の講習会も同様とした。

5 賛助会小委員会企画講習会について【再掲 資料 5】

関連して、10月に開催される住生活月間の展示ブースについて賛助会員に事務局から希望を募る旨を説明し、了承された。

<報告事項>

1 第 347 回 理事会 開催結果について【資料 6】

事務局より、資料 6 により、平成 27 年度事業計画及予算について、理事会資料 2, 3 で説明した。

また、昨年度、総務企画委員会で検討した会員の懲戒処分規定の適用案件を理事会提出資料 4 により説明し、会員資格喪失処分として理事会に付議する旨を報告した。新入会員の属性についても「あり方検討」の基礎資料の意味合いで説明した。

最後に、総務企画委員会で検討した役員選任規定に基づく役員の選任作業の現段階の状況を説明した。

2 平成 27 年度 二級・木造建築士試験 受験申込者数について【資料 7】

事務局より、資料 7 により、4 月 9 日～4 月 13 日までの受付状況について、100 名程度の減の内訳を説明した。

3 長谷川委員の退任あいさつ

本年度退職するため委員は退任し、沼田氏に交代する旨の発言があり、退任の挨拶があった。

委員長及び委員から長谷川委員の尽力に感謝する旨の発言があった。

<その他>

1 次回の委員会について

平成 27 年 5 月 19 日（火） 18 : 00～

2 その他

平成 27 年 4 月 27 日（月） 正副会長・常任理事会（建築士会会議室）

平成 27 年 5 月 1 日（金） 14 : 00～ 第 348 回理事会（神奈川県建設会館 2 階講堂）

平成 27 年 5 月 28 日（木） 14 : 00～ 通常総会（神奈川県建設会館 2 階講堂）

以 上